



Weekly Bulletin

The Magic of Rotary
ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/川辺 哲 ●副会長/児玉 俊明 ●幹事/横山 泰久 ●副幹事/川崎 裕司

2024-2025 2月3日 ☀ 第3728回例会 会員卓話「静岡ロータリークラブのレジェンドが 次世代にのぞむこと」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
宮部 理香さん

●会長挨拶●

会長 川辺 哲さん

静岡ロータリークラブは、創立が1935年6月24日で、今年90周年になります。当

初親クラブは横浜RCでしたが、約4年間、戦争で活動を停止していた時期があり、再設立時は東京RCが親クラブだったそうです。90周年の区切りの年ですが、エポックメイキングなイベントではありませんので、むしろ100周年をその位置付けにすべく、今回は大々的なイベントにはしないものの、区切りのイベントは必要と思いますので、久保田委員長を中心に90周年記念例会と祝賀会を

6月30日に予定し準備を始めています。昨夏最初の挨拶でも申し上げましたが、ロータリークラブ会員が世界レベルで減少していますが、幸い我が静岡RCは「伝統」と「格式」、「先進性」を保つ皆様の不断の努力のお蔭で、そのような状況にはないですが、各地のロータリークラブでは一番の悩みと聞いています。原因は人口減少、地方企業の経営難など様々ありますが、やはりロータリークラブそのものが、社会の変化に対応し切れていないのが大きな要因ではないかと思えます。静岡RCもいつ会員数減少に悩まされる時が来るかも知れません。そうならぬよう100周年に向けて、奉仕活動を通して益々発展し充実したクラブライフが送れるようにするために、「これからの10年間、何を大切にし何に注力していくべきか？」について、様々な場で会員の皆様に考えていただき、ディスカッションをしていただきたいと思います。本日は90周年記念の活動のスタートとして、卓話の時間を利用して、今まで当クラブを支えてくださった「レジェンド」の方々に、静岡RCの過去と未来について、パネルディスカッション形式で語っていただきます。(静岡ロータリーの良いところ、悪いところは何か？これから創立100周年に向けてどのようなクラブになって欲しいか？)そして6月の例会



で、これから静岡ロータリーを支えていく若手・中堅のメンバーに、これからの静岡RCに対する期待や要望・抱負を語っていただきたいと考えています。「温故知新」(旧きを尋ねて、新しきを知る)、そのようなディスカッションの場を設けましたので、皆様のご理解・御協力を宜しく願います。

●委員会報告●

雑誌委員会 箕田委員長

『ロータリーの友』2月号について。

- ・ 今月のテーマ：平和構築と紛争予防月間
- ・ 2月23日 ロータリー創立記念日
- ・ 会長挨拶・・今月行われる国際協議会、国際会議について
- ・ ジョージ・タケイ氏インタビュー記事
- ・ ロータリー研究会レポート
- ・ 清水ロータリーによる寄贈
- ・ テレビディレクターの考える戦争…今は戦後は終わり、新しい時代の戦前である。皆で話し合うことが必要。

国際奉仕委員会 望月委員長

昨年よりタイのロータリークラブとグローバル補助金事業を進めてきた。11月に補助金が承認され、事業(病院への救急車の贈呈)が実行できることになった。補助金総額約8万ドル(1300万円)となり、今年度メインの事業でもあるため、ぜひ多くの方とセレモニーをお祝いしたい。3月29日-4月1日の日程で贈呈セレモニー、地区大会への参加等が行われる。5か国の方々と懇親を深める良い機会なので、多くの方のご参加をお待ちしております。

新会員交流委員会・スポーツ観戦同好会

番匠委員長

- (1)3月30日(日) 15:00ーベルテックス静岡観戦。2月27日(木) 締切。懇親会も予定しているので、是非お申し込みをお願いします。
- (2)3月4日(火) 米山奨学生ゼアド君の壮行会。懇親会・ボーリング大会の日程を同日に合わせました。日程変更がありますのでお気をつけください。2月17日(月) 締切。しっかり壮行したいと思いますので、是非ご参加をお願いします。

●幹事報告●

横山 泰久幹事

- ・2月16日親睦ゴルフコンペ まだ若干の空きあり。
- ・3月2日 インターシティミーティング まだ若干の空きあり
- ・親睦旅行、40名上の参加申し込みいただいている。早めにお申し込みをお願いします。
- ・地区からの委嘱状(寺戸常剛さん、佐藤長巳さん)
- ・今週メール案内させていただく2件、ぜひ参加をお願いします。10月26日合同奉仕&ファイヤーサイドミーティング、11月10日 地区大会
- ・会員のお祝い。おめでとうございます。

●おめでとう●

【誕生祝い】

- 月●●日 佐藤 智宣さん
- 月●●日 東 秀明さん

【結婚記念日】

●月●●日 小川 潤さん

●スマイル●

佐藤 智宣さん

お祝いありがとうございます。●●歳になりました。今後ともご指導宜しく願いいたします。

東 秀明さん

お誕生日のお祝い有難うございます。●●歳になりました。近頃は時が過ぎるのが早いです、精進します。

小川 潤さん

●●回目の記念日を病室で迎えることになりました。とはいえ、お祝いを有難うございました。

満席テーブル

3卓(藤田テーブル、大須賀テーブル、15番テーブル)。足りなくても満席ということであればスマイル歓迎です、笑。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
2/3	110名	68名	42名	61.82%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう!

●会員卓話●

90周年委員会 久保田委員長



静岡ロータリークラブ90周年に向けたパネルディスカッションで、演題は「静岡ロータリークラブのレジェンドが次世代にのぞむこと」

静岡ロータリー100周年へ向けて
(ディスカッション)

久保田委員長

90周年に向けて戦略計画委員会を作り、向坂ビジョンを策定している。本日はレジエントロータリアンの皆様に「ビジョン」について話をしていただく。(疋野さん、伊藤さん、平尾さん、志田さん、寺戸さん)

疋野さん

最初にビジョンを作成する際、まずシカゴで設立した際の「親睦と奉仕」という精神の中で、最も重要なのは「職業奉仕」ということから議論が始まり、一昨年8月から4月まで隔月で開催してきた。これらを経てビジョンができあがってきたのが経過。

平尾さん

年齢職業新旧を問わずと言われているが、静岡RCは若い人を抜擢していると感じる。自身は入会して●●-●年だが毎年のように変化している。静岡RCの特徴は多様性であり支店長さんが多くその存在も大きい。委員長や幹事を担っていただくこともあり、地場の方々とも垣根なく活発に活動しており、例会や親睦会の出席率も高い。こういうクラブは地区を見渡しても多くはなく、他では支店長はお客様扱いのところも多いが、静岡RCでは重要な役割を担うことも多い。多様性、新しいものを吸収する力が高いと感じている。これが伝統と格式、そして先進性かなと感じている。

寺戸さん

ロータリーでは親睦と奉仕で親睦が先に来ているが、自身も入会して●●年になるが、その頃から新会員の位置づけは変わっておらず、入会3年未満の方は交流親睦委員会に所属している。これは当地区でも静岡RCだけ。これだけ新規会員と交流をもっているのは他にはない。会員満足度調査をしたが、そのアンケート結果は110名中71名回答があり、親睦活動に参加した人52名、参加したい人19名、また親睦をもっと希望する人も31名いる。親睦活動についても適正が63名、少ないが3名となっている。多くの方との交流が適正に行われていると評価されている。

伊藤さん

過去は1業種1会員であり、推薦があっても同業種は複数名不可だった。そのため他のクラブに入会するか新たにクラブを立ち上げるしかないが、ある意味活発でもあった。今は1業種の要件は緩和されており、色んな方の意見が聞けるメリットなど良い面もあるが、同業種複数名いると遠慮がでてしまったり、大きなクラブに集約されて小さなクラブは立ちいかなるというデメリットなども生じる。また新しいことができて、それが各クラブに上手く伝わらないこともある。良い面を伸ばして、上手く情報が伝わるようになればと思っている。クラブの中できちんとキャッチボールができて、奉仕活動とは何なのかなど、ひとりひとりが目的を考え議論し落とし込めるようになると良いのではないか。これが大事であり、例会で話されていることが何なのかを議論できる環境になれば良いと思う。

志田さん

皆さんの話は納得いくものが多い。個人的な見解になるが自身は支店長が多いのは好ましいと思っている。また従来多いのは、商工会議所などの会員、J Cの会員など繋がり深い方で固まってしまう、いつも同じ人が同じテーブルで進めていることも多いが、当クラブは年齢構成も職業も素晴らしく多様化しており、これが当クラブの特徴でもある。昔の良さが失せていると感じている人もいると思うが、ロータリークラブ自体が凄い勢いで変化しており、職業奉仕は変わらないが奉仕の仕方は変わっていく。当クラブにとって職業を通じて奉仕していくのは当たり前であり、それを皆さん実践しておりそれは良いことと思う。一番大事なことは、90年の歴史を持っており、R Iの言う通りにするだけでなく自由にやりつつ、でも基本的なところをきちんとおさえてとやるべきことをやっている。静岡RCに入ると、そこにいてだけで奉仕になっているとも言える。皆さんが例会に出て親睦して、忙しい中でも参加すること自体が奉仕に繋がっているのではないかと。何か良いこと、学びの場があるなど様々な方との親睦こそ学びの場であり奉仕に繋がる。多くの経験をしている支店長さんとの親睦・交流することが学びの場になっているのではないかと。また今後90-100年についてはまた見直してみても良いかなとも思う。

結びに、静岡RCは奇跡的にこの地区にあって、静岡市という県庁所在地で静岡RCと名乗っていることで支店長さんも集まってくれており、それと地元の方々と色んな軌跡が重

なりあって良い環境になっていることを感じる。この現状に感謝しつつ、守っていったら良いのかなと思う。この次の若手の委員会の座談会に繋がりたい。クラブの優先順位のペーパーもご覧いただきたい。若手の委員から意見が出ていた、奉仕活動の開発、多様化、活性化に努めることも検討したい（ポリオのようにもっと直接的な、例えば能登の震災支援等）。多様な人材を適材適所に配置し、ロータリーの年齢制限の撤廃、年齢・性別を問わず奉仕活動への参画を促す、なども若手の座談会で取り上げたいと思う。6月30日は音楽で90周年を振り返りたい。



